



# 寺嫁まめこの ひとこと通信

お寺のことや仏教のことをもっと身近に！そんなことをまずは自分で感じてみよう～、と思いながら書いている寺嫁のつぶやき。

VOL.42 (令和5年4月発行)

こんにちは。新年度が始まりましたね。娘たちのように、1つ学年が上がった、というわかりやすい変化はありませんが、それでも“何か成長している”、と感じられるように過ごしていきたいものです。実は今回取り上げるお経は5年前にも一度書いたことがあるものです。そのときよりも、少しでも深い内容になっているといいなあ。ということで、今号もよろしくお願ひします^\_^

## ～ 悪い芽を切り取るアイテムを手に入れよう！ ～

今年のみめこ通信はお経がテーマ。

今回は「懺悔文(さんげもん)」を取り上げます！

※【さんげ】って読みたくなると思うのですが、ここは【さんげ】です。

まずは今回もお経をご紹介します↓

我昔所造諸悪業(がしゃく しょそう しょあくごう)  
皆由無始貪瞋痴(かいゆう むし とんじんち)  
従身口意之所生(じゅうしんくいし しょしょう)  
一切我今皆懺悔(いっさいがこん かいさんげ)

どんな意味か、といひますと…



私がこれまでしてしまった罪はずっとずっと前、いつが始まりかもわからないほどの頃からある、貪り(むさぼり)、怒り(いかり)、愚かさ(おろかさ)が元にあります。

体から生まれる悪い行い、口から生まれる悪い言葉、心から生まれる悪い気持ち、そのすべてを、今、よくよく見直し、生きていこう。

こんな内容になっています。

このお経をお唱えすることで、自分の中にある悪い芽に気づき、それを切り取るうことが出来ます。誰にでもこの悪い芽はあって、放っておくと、どんどんツルが伸びていき、知らず知らずのうちにそのツルにからまれまくっている…ということになりかねません。気づかないってコワイですねー。

ただし、1回切っただけでもう大丈夫！というわけにはいかないのが私たちの残念なところ。でも、お唱えするたびに自分の行いを振り返り、悪い芽のツルをお手入れしていけるのは私たちの素晴らしいところ。自分自身の残念なところ、素晴らしいところを知ることは、周りの人の残念なところ、素晴らしいところにも気づけるということ。

【懺悔文】という心のお手入れアイテムを手に入れて、いつでも反省でき、周りの人とともに成長できる自分でいたいものです。